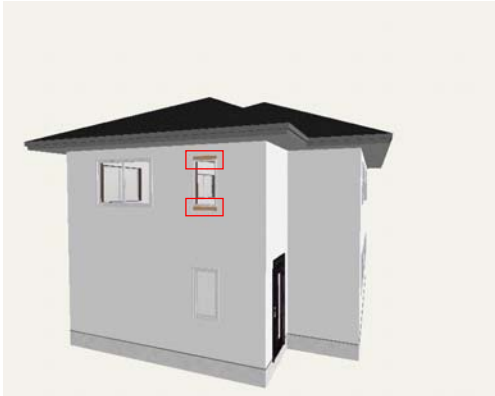


eE-Formerで窓を加工する方法

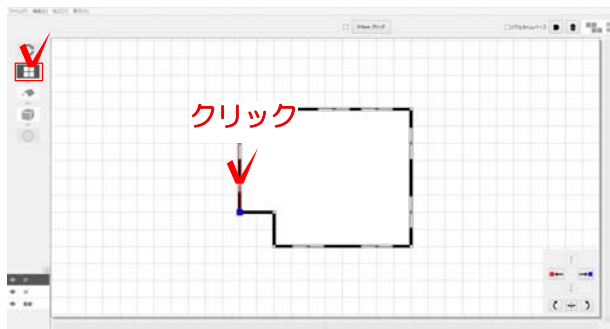
窓外側に配置する飾りをeE-Formerで作成することができます。



窓に飾りを配置することができます。



参考 [eE-Former]を検索

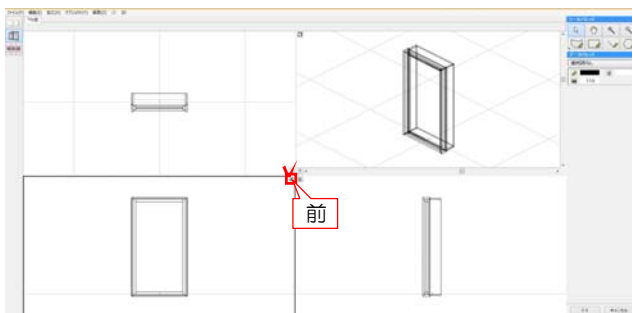


1 eE-Former起動

1-1 平面図のレイヤで作業します。
編集する窓をクリックで選択します。

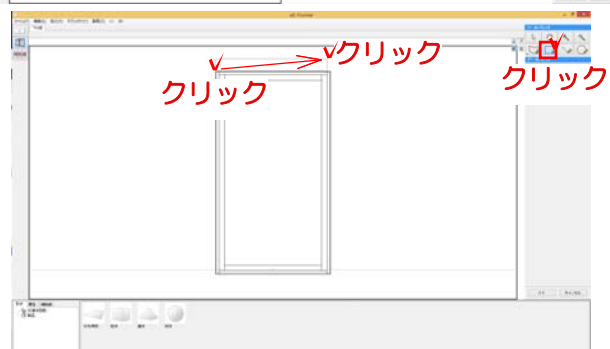


1-2 画面左上の加工メニューからeE-Former
を選択します。



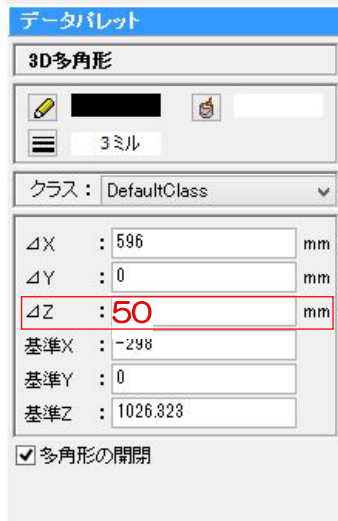
1-3 画面中央の前を選択します。

※前の画面が大きく表示されます。



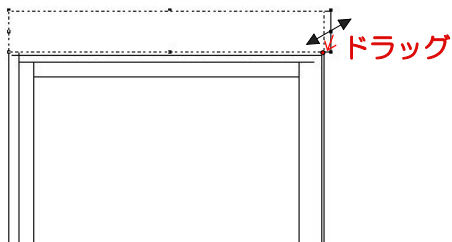
1-4 右側の四角形ツールをクリックで選択し
ます。


飾りを作成する窓の左上の角でクリックし、右
上の方に向かってマウスを移動し、大体の位置
でクリックします。

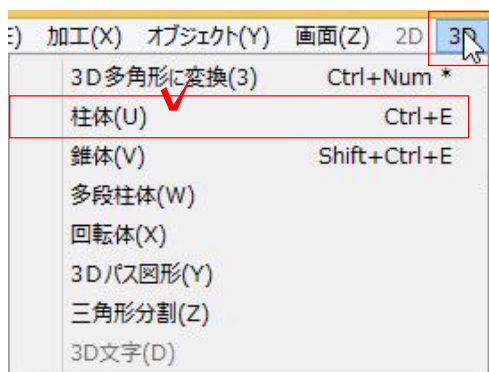


1-5 画面右側のデータパレットでZ値に高さを入力します。今回は50と入力しEnterで確定してください。

※前から描いた四角形は高さがZ値になります。どの方向で描いた図形かによって高さの入力欄が変わるのでご注意ください。



1-6 窓の幅に合わせて。矢印ツールに戻し右側の真ん中の点にマウスを近づけ  マークになったらクリックします。マウスを窓の右上の角に移動し、Sの表示が出たらクリックで確定します。



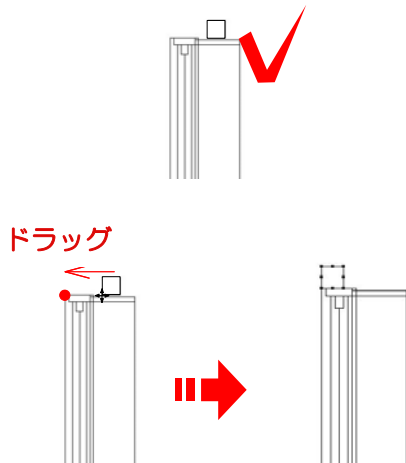
1-7 図形に厚みをつけます。左上の3Dから柱体を選択します。



1-8 Hを今回は50と入力しOKを選択します



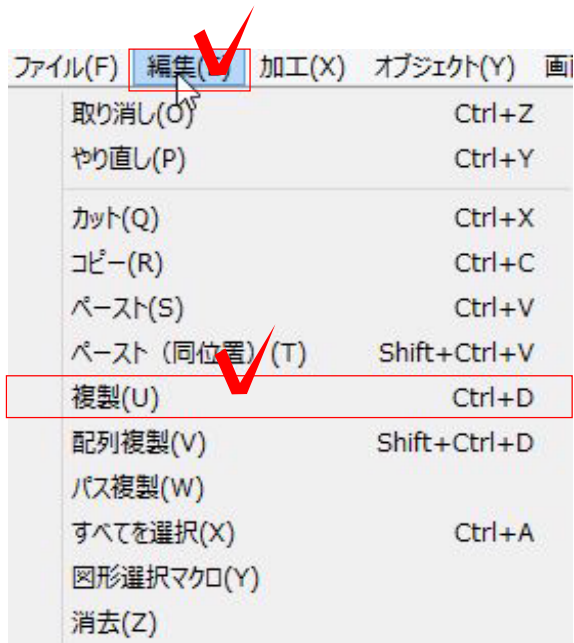
1-9 画面の方向を変更します。右上の右をクリックで選択します。



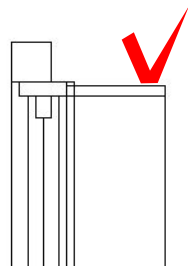
1-10 作成した図形を窓の枠に合わせて移動させます。図形がないところでクリックで選択解除します。

1-11 図形の左下の角にマウスをあてると \oplus のマークに変更されるので、ドラッグで \bullet まで移動します。

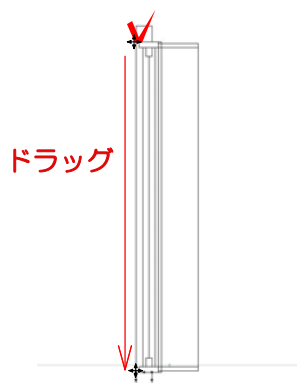
※図形を移動する時は必ず \oplus のマークで作業しましょう。



1-12 同じものを窓の下にも配置したい場合は左上の編集を選択し、複製を選択します。



1-13 複製したものは同じ位置に複製されます。移動する時は何もないところをクリックして選択を解除してから、図形の左上を \oplus のマークの時に選択し、ドラッグで下側の窓の角に配置します。



1-14 移動後、右下のOKを選択し、完成です

※完成後eE-Painterで飾りの素材（色）を下から選び変更しましょう。